

特 251
531

第十六年刊

高岡産業案内

防
諜

高岡商工會議所

始



特251
531

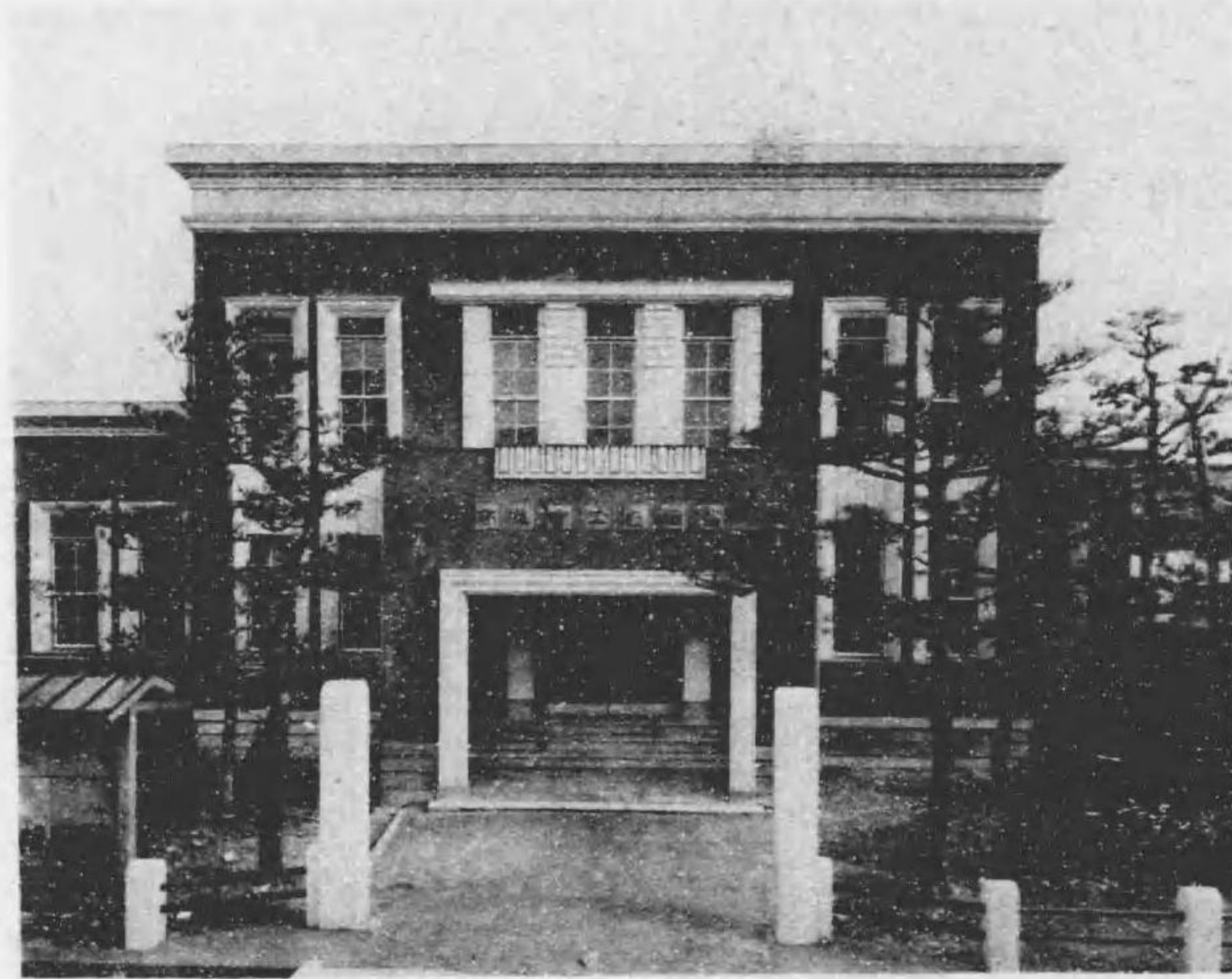


業案内

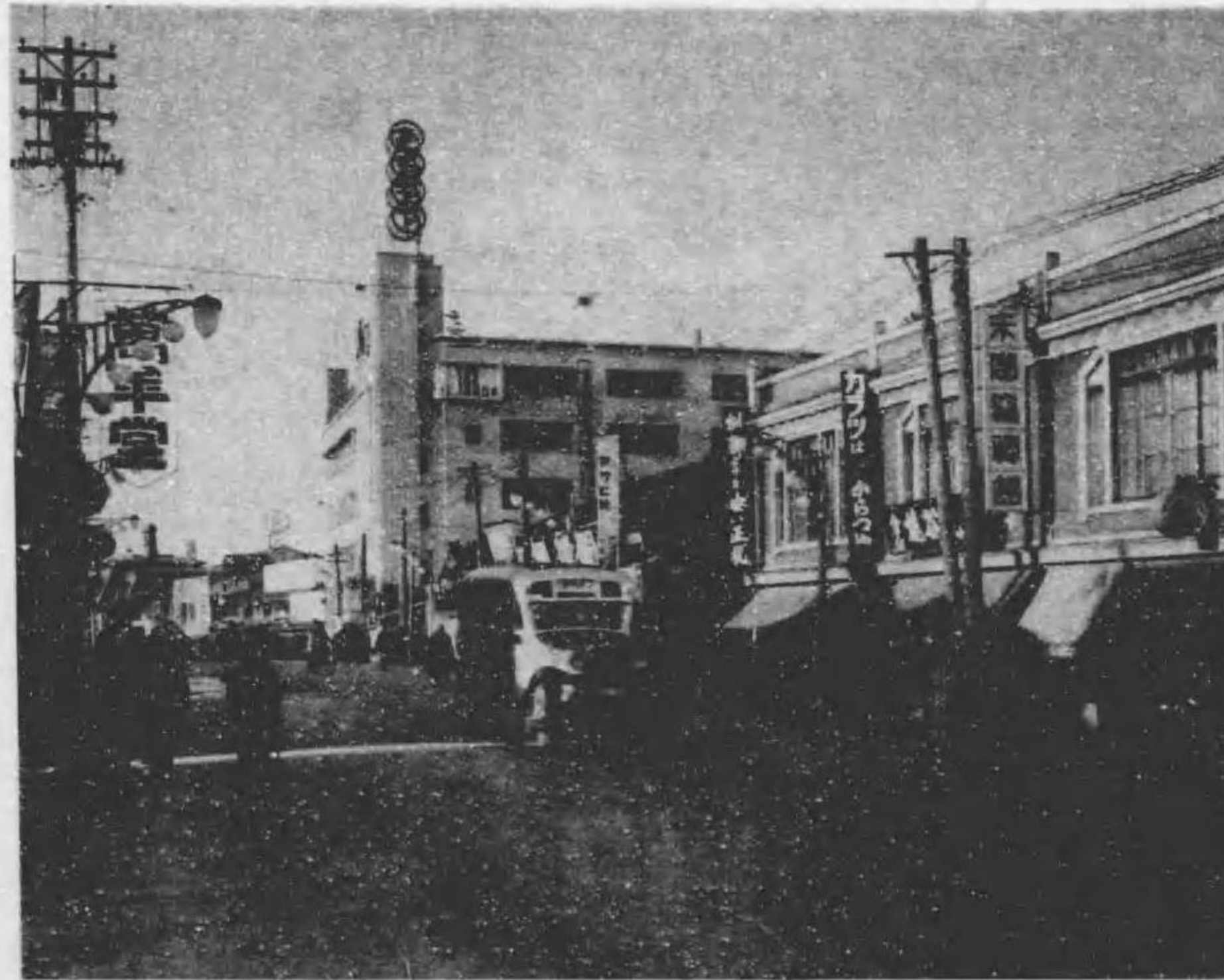
昭和十六年刊

高岡商工會議所





高岡商工會議所



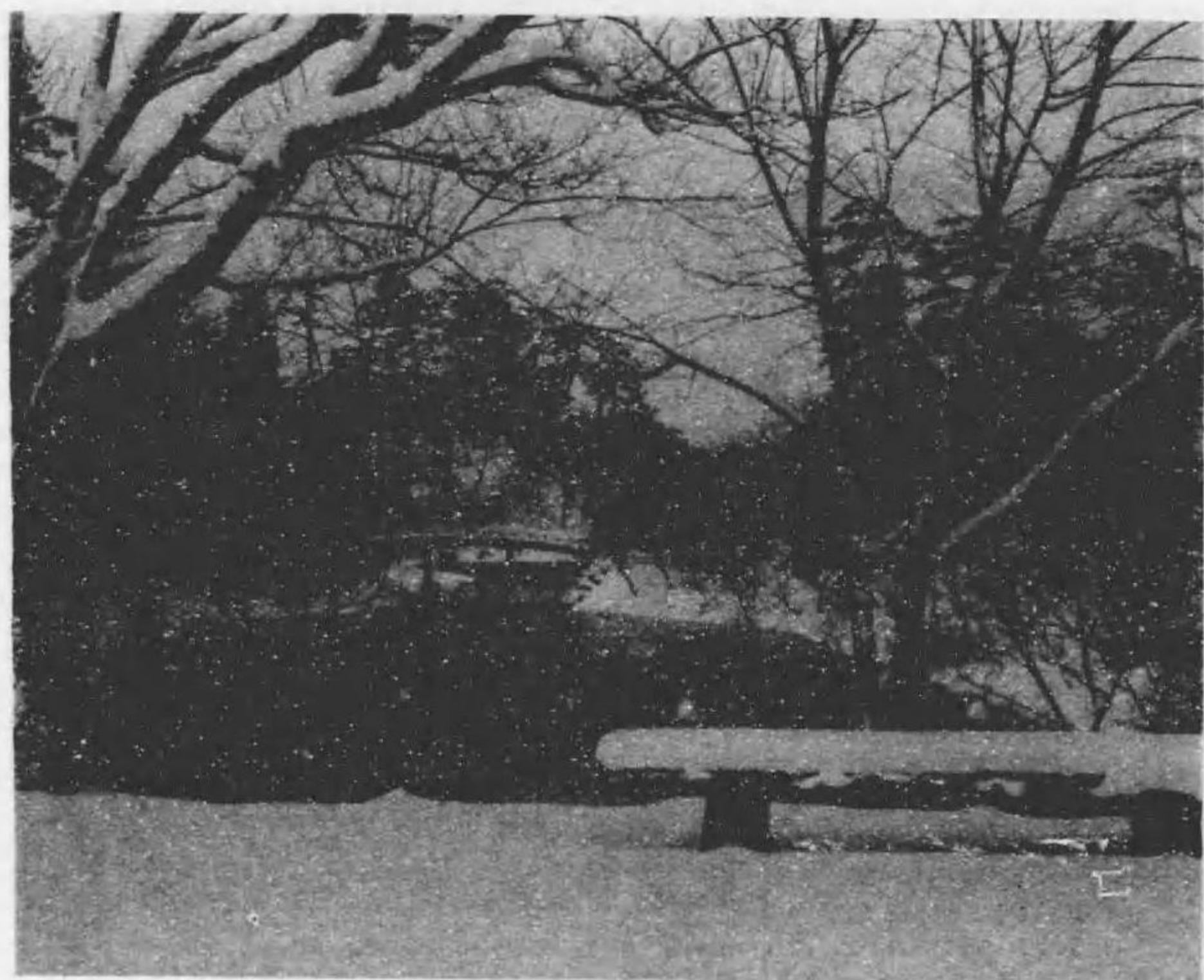
高岡驛前末廣町通り

高岡産業案内目次

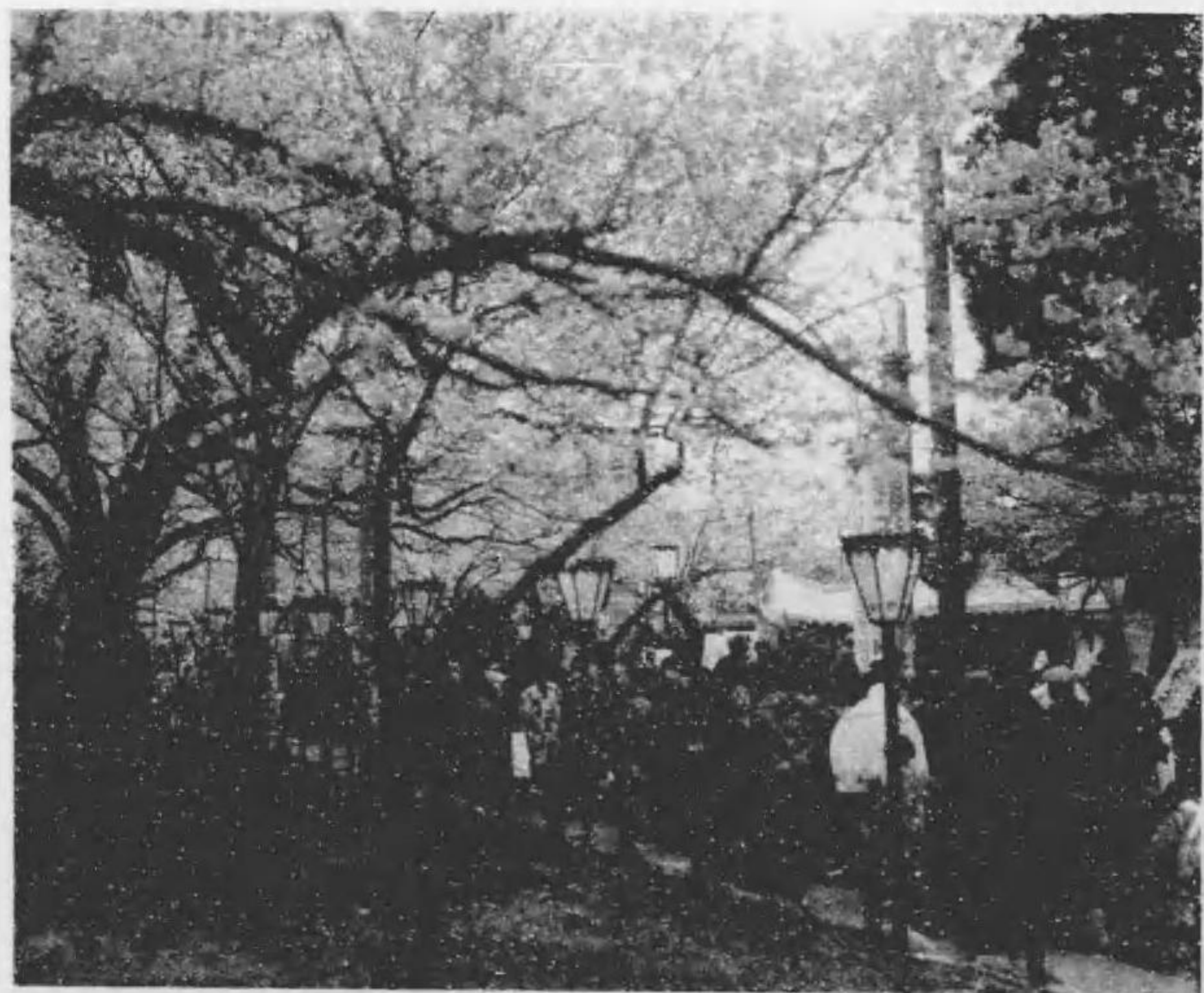
一、沿革	二
二、面積及地勢	二
三、市街及戸口	二
四、商業	三
五、工業	三
六、高岡商工會議所	四
七、交通、運輸	九
八、官衙、學校	九
九、名所、舊蹟	一
諸統計	
戸口、職業別	一五
銀行	一六
手形交換高	一八
農産物検査支所	一八
通信	一九
貨物通	二〇
金價	三

會社一覽

重要工業物	二四
諸稅	二五
株式會社	二九
有限會社	三三
合資會社	三四
支店	三六



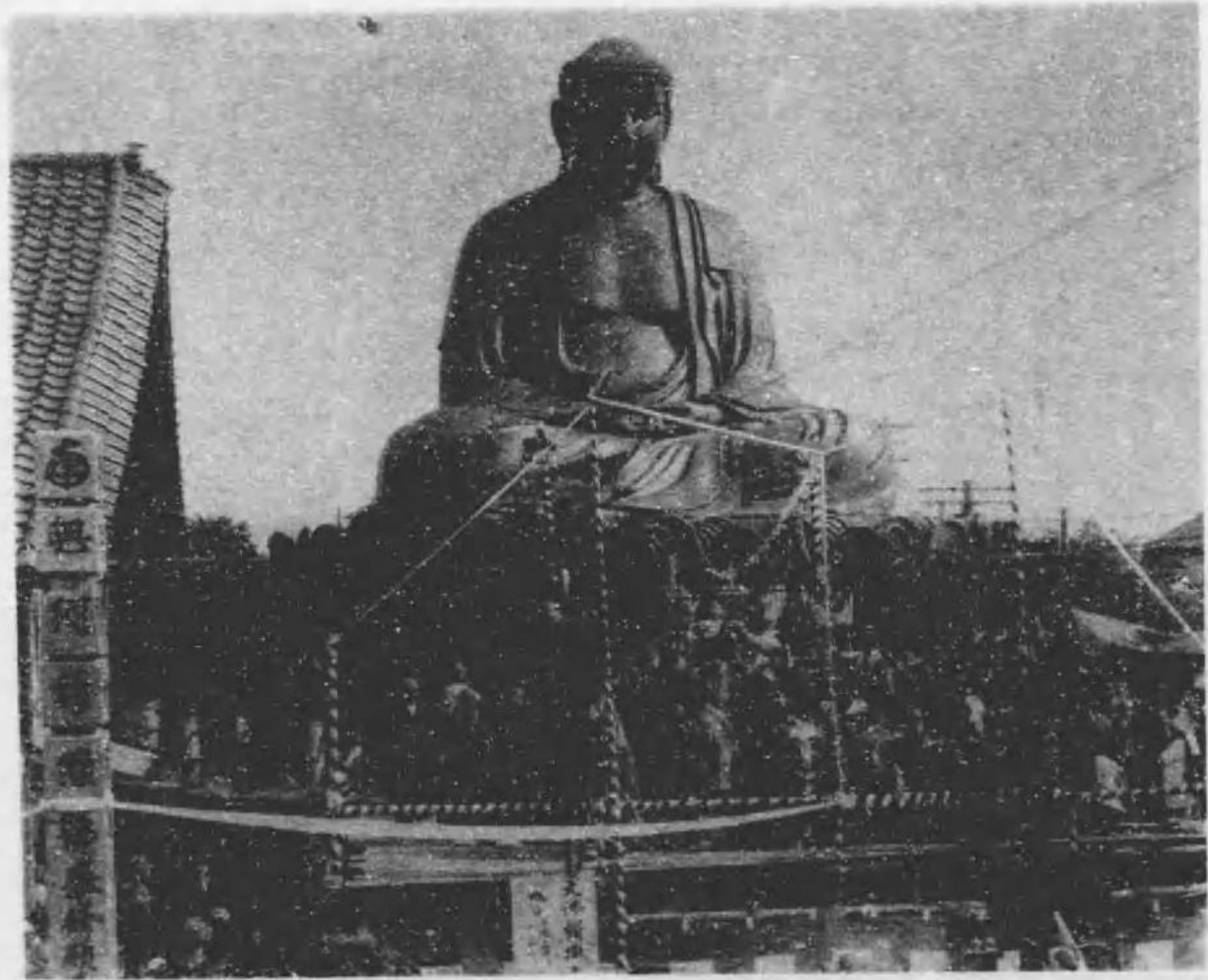
高岡公園ノ雪景



宇都宮ノ桜馬場



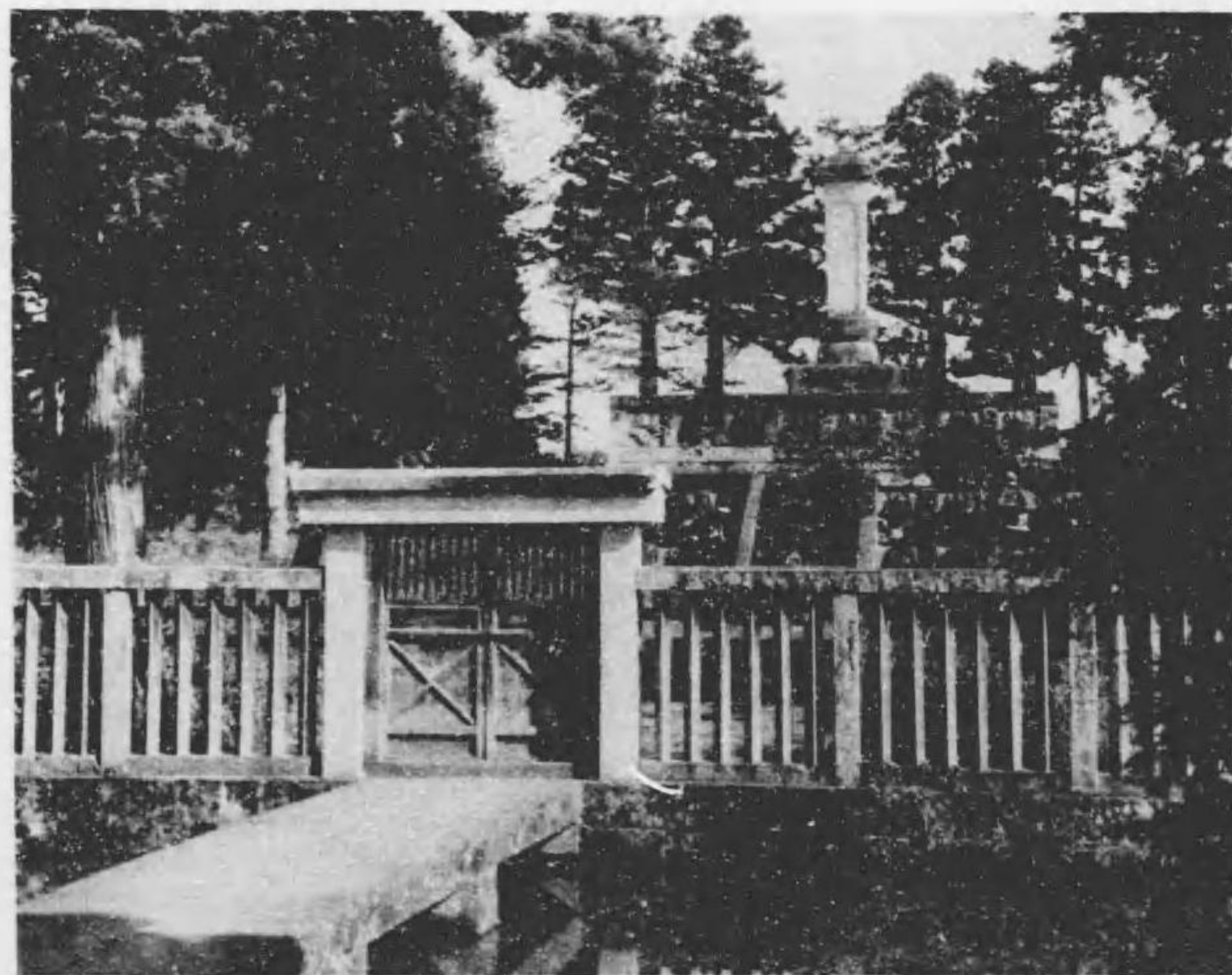
社神水射社中幣國



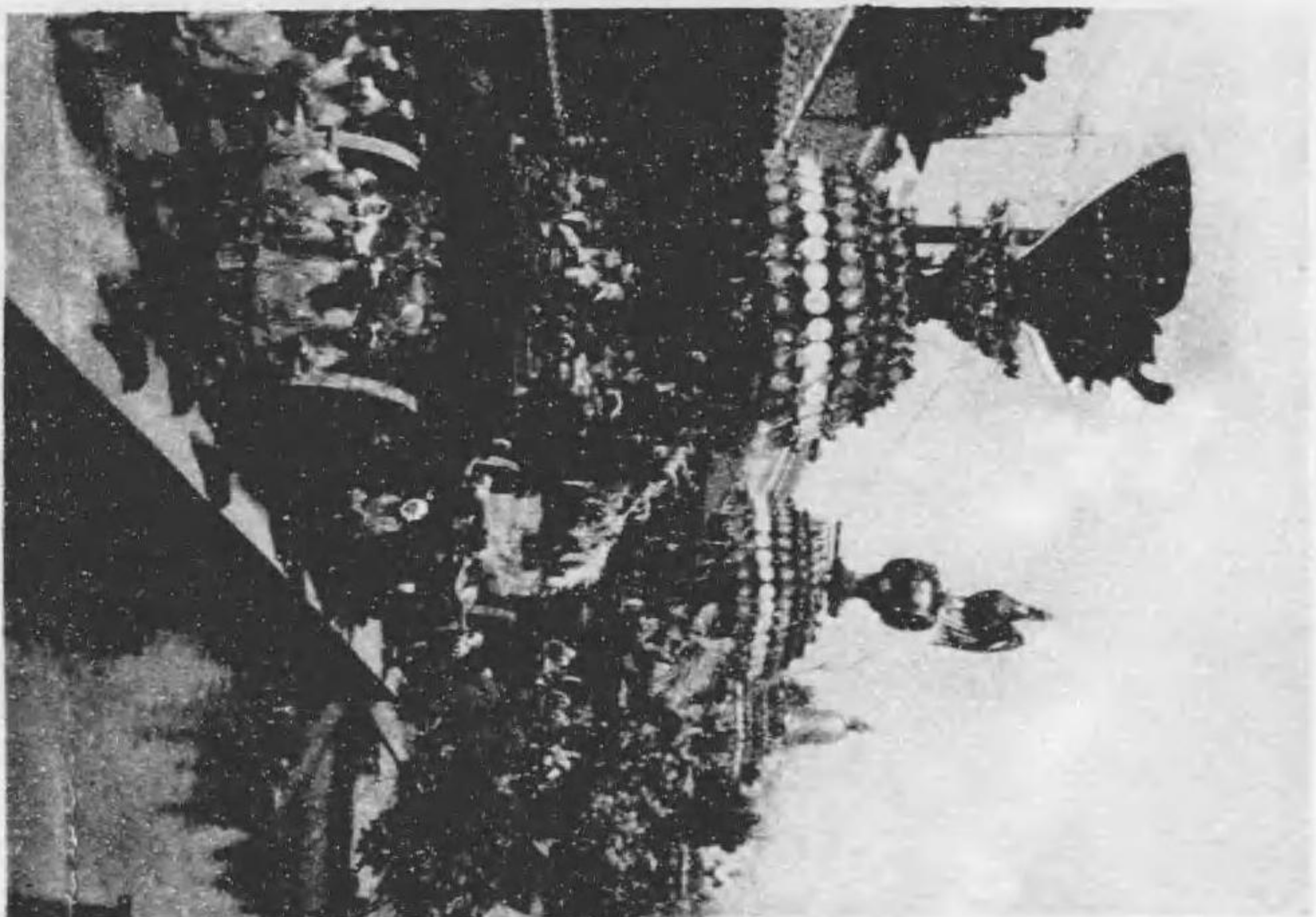
佛大岡高
(一ノ物鑄大三本日)



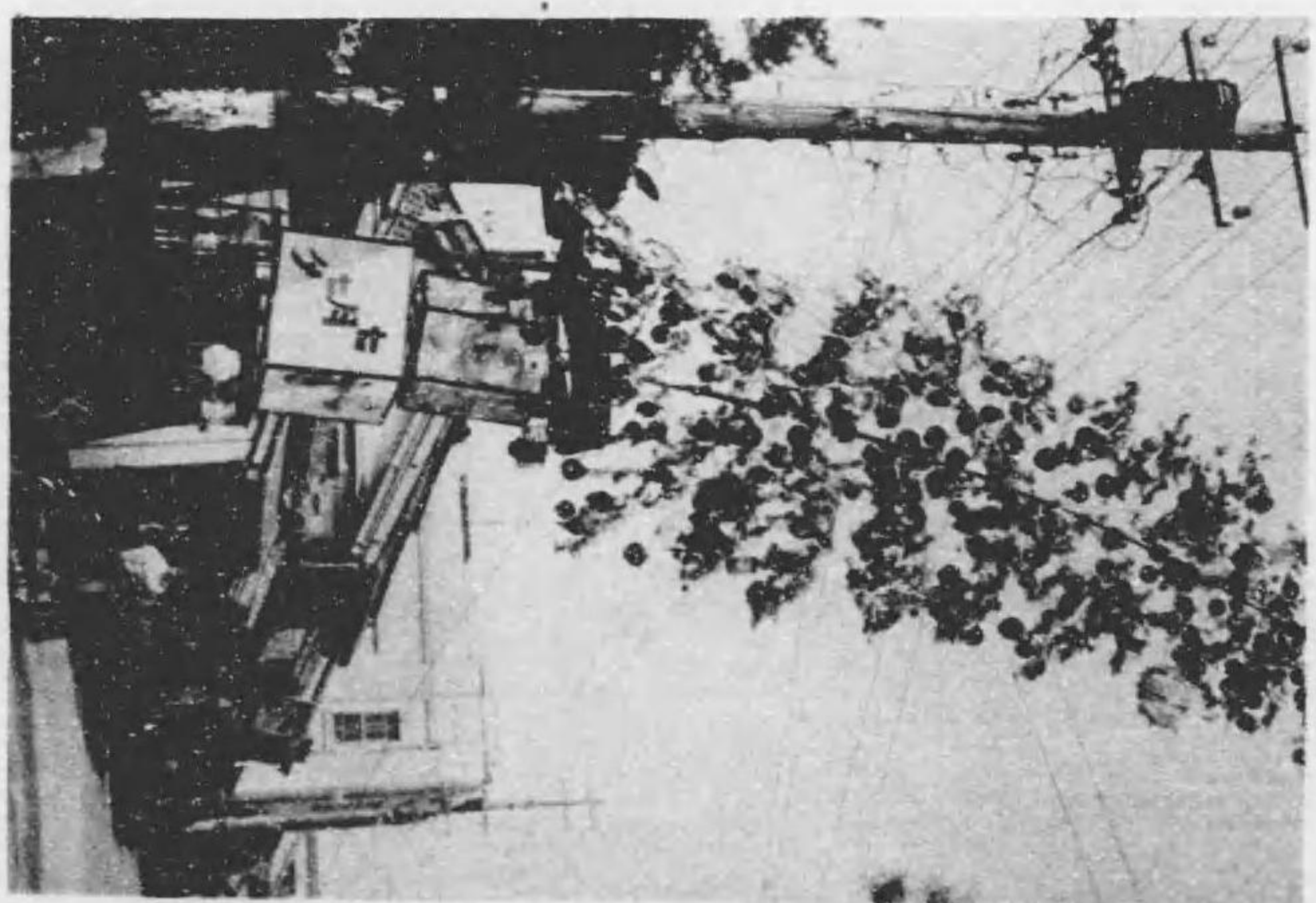
寺 龍 瑞 山 岡 高
(物造建寶國)



廟 御 卿 長 利 田 前



山曳御物名



祭夕七物名

高岡産業案内

一、沿革

前田利長卿築城以前に於ける本市の状態に就ては文献の徴すべきもの甚だ少く正確を得難いが、諸書に散見する異説を綜合して上古塞口の郷セキグチガウと稱し、中古に關野セキノ又は關野ヶ原と稱へ、又二上山下の二上ノ莊の一部であつたことが知らる。

爾來幾多の昔霜を経て慶長十四年（紀元二二六九年）九月利長士臣四百三十名を従へて新城に移住し來られ、同時に工商六百三十戸許は富山、守山、木舟の三城下から陸續移り來り、京師の衛衛に倣ふて定められた町割によつて各其の居住を占めてより、茲に初めて高岡の基礎を拓くに至つた。

慶長十九年五月利長郷享年五十三歳を以て高岡に薨去せられてより、間もなく高岡城は廢毀せられたるも附近守山又は木舟城の廢類に拘らず、獨り高岡のみは衰亡することなく反て其繁賑を増すのみであつた。

其後金澤、小松と共に加賀藩の三城下を以て數へられ、明治四年金澤の管轄となり、同年七尾縣に改め、同五年更に新川縣と變り、同九年新川縣廢せられて石川縣に屬し、全十六年五月越中國一圓を以て富山縣と定められ、同二十二年四月に市制を施行せられ、大正六年五月に掛開發村を、全十四年八月に下關村を、又昭和三年六月に、横田、西條村を、同七年十月佐野村木津の一部を又同八年八月二上村を市に編入して、大いに廣袤を擴張した、其間屢々祝融の災に罹り市街の大部烏有に歸し、又は諸川氾濫の厄に遭ひ慘憺の光景を呈せしことあるも、堅忍不屈の氣に富める市民は益々發奮興起する所あつて、能く文化の進展に伴ひ着々市街の規模を大にし、今や都市計畫の實施と主要幹線道路の鋪裝によつて一層都市の美觀を添へ面目を一新するに到つた。

二、面積及地勢

本市は富山縣射水、氷見、東礪波、西礪波四郡の中樞に位し、東徑百三十七度二分、北緯三十六度四十五分、海拔八米二〇の所に在りて、其面積二一・八平方軒餘、周圍三五軒を算し、極東中川より極西北島間六軒、極南京田より極北城光寺間八軒に及ぶ

地勢は庄川、小矢部川、東西兩流域の間に介し、南に高く北に低く緩傾斜をなし北陸本街道に當り東南は遠く射水、兩礪波の平野に連り、西方一帶は國吉、守山の諸村を距て、西礪波郡、氷見郡の山地に續く、又市街の中央を千保川南北に貫流し市の北で小矢部川に合し、舟楫二軒餘にして伏木港に達する、北方は坦々開けて越中灣に臨み其距離漸く二軒を出でない

三、市街及戸口

最近附近村落の編入によつて現在町數九十七ヶ町を算す

市の西端から東端に向つて北陸街道蜿蜒々市中を貫き、其國道に沿ふ中心附近就中旅籠、通、御馬出、守山、木舟、小馬出坂下、一番町通り、片原町通り、末廣、御旅屋の諸町は商業街として股賑を極め、又千保川畔から西部一帶横田、金屋、内免町方面は工業地區として、本市特産銅鐵器、紡績、捺染等諸種の工業此處に蟻集してゐる

戸數、人口は年々増加し、昭和十五年末現在調によれば左の通りである

現在戸數	一二、五三一戸
現住人口	二九、七二七人
男	三一、一五七人
女	六〇、八八四人
計	

四、商業

前田利長卿高岡築城以來已に三百三十有餘年、幾たびか時勢の變遷を経過したが、藩政時代より千保川の水運を利用し礪波、射水兩平野を控制して伏木、六渡寺等の港灣に出入なし、殆んど全越中の通商航海の中心点たるが如く、古より商業開け殊に木材、石材、綿などに對しては藩主から種々の特權と保護を與へられ、其綿場の如きは維新後に到るまで旺盛を極めたもので、高岡米穀取引市場の前身をなしたものである、其他廻米又は川下げと稱し礪波川上、射水の産米を小矢部川の水運によつて、伏木港より遠く江戸、大阪にまで廻漕したる外、常に江戸、大阪は勿論北海の賑僻と往復して商權を張り福井、石川、富山、新潟、北陸縣下に覇を唱ひ、高岡商人の名は歌はれ來つたこと實に久しく、商業發達の起因淺からざるものとす、今や通信、交通機關の完備と共に益々進展の途上にある

五、工業

銅鐵器 本市の工業は藩主前田利長卿城地を定むるや先づ幾多の工業を興し、大いに奨励保護を加へられたるに端を發し、本市商業の發達と相伴んで古き歴史を有するものとす、中でも工業發展の先驅をなしたるものは鐵鑄物で、利長卿在城中即ち慶長十六年（紀元二二七一年）九月礪波郡西部金屋村に居住せる鑄物師金森、喜多、般若の姓を有するもの七名を高岡へ招致し、鑄物工場五ヶ所を建設開業せしめ、之に多大の優遇を與へて以來、茲に本市銅、鐵器工業の起因を爲したもので、其後實歴（約二百七十年前）頃から鐵器の外唐金鑄物、佛具、香爐の製作漸く盛となり、就中多數鑄造せし墨斗に銀象嵌を施したもの一ヶ年産額已に數萬圓に達し、明治初年以來佛具、火鉢の製産は益々旺盛となり、現今本邦に於ける唯一の特産地たるを得たのである

漆器 銅鐵器に亞ぎ漆器工業も亦古き沿革を有し、明和、安永の頃には己に、辻丹楓（丹市と同一人ならんともいふ）の如き漆技彫鏤の名工現はれ、其後天保に至り板屋小右衛門（或は板小と略稱す）石井勇介等の名匠相踵で出で漆器

席次	業職名	住所	電話番号	氏名
一 番	洋反物商	高岡市末廣町	六一九	梶川 伊八郎
二 番	菓子商	同 小馬出町	八七	藤田 恒善
三 番	漆器商、會社重役、市會議員	同 白銀後町	四九九	大同捺染株式會社代表 増原 長七
四 番	洋鐵商	同 片原横町	五五	武部 半馬
五 番	鐵工機械業	同 金屋町	三八七	藤田 甚右衛門
六 番	銅器商	同 横田町	五七九	木津 彌平
七 番	海產物商、會社重役	同 横田	五五六甲	高岡海產物株式會社代表 早川 清太郎
八 番	吳服太物商	同 旅籠町	三一四	高 島 甚吉
九 番	漆器商	同 中川	一二〇一	寺 島 彌作
一〇番	鐵管繼手業	同 木 町	二四三甲	株式會社丸五繼手製作所代表 二 上 八郎
一一番	米穀商	同 下川原町	三九一	野 崎 勝太郎
一二番	化粧品小問物商	同 定塚町	四一六五	野 村 岩太郎
一三番	メリヤス雜貨商、會社重役	同 小馬出町	二二五	本 間 常吉
一四番	銀行、會社重役	同 大 野	三一五〇	●銀行業、信託業代表 株式會社高岡銀行 正村六之助
一五番	紙商、市會議員	同 小馬出町	七二六	島 田 喜太郎

一六番	捺染業	同 袋 町	九九・三八 一二六二	●捺染、紡織業代表 小 杉 助次郎
一七番	漆器業	同 末廣町	一九七	●漆器製造業、同販賣業代表 木 勢 次吉
一八番	毛糸編物業	同 坂下町	一〇一四	島 津 清次郎
一九番	銅器商	同 金屋町	二〇一	大 寺 幸三郎
二〇番	石炭商	同 横 田	九七四	北國石炭株式會社代表 飛 田 政吉
二一番	鮮魚商、市會議員	同 一番新町	七四二	若 杉 竹次郎
二二番	酒類商	同 宮脇町	四〇七	岩 城 平二郎
二三番	運送業	同 末廣町	二〇〇九	高岡合同運送株式會社代表 二 口 源十郎
二四番	鐵工機械業	同 鴨島町	六五一	中 村 宇太郎
二五番	織物商	同 定塚町	二一	菅 原 敬兵衛
二六番	藥種商	同 元 町	八一三	朝 山 小三郎
二七番	銅器商	同 横田町	八四七	●銅器製造業、同販賣業代表 佐 山 米次郎
二八番	海產物商、會社重役	同 中川原町	六一七	●魚市場業、同販賣業代表 小 杉 正二
二九番				
三〇番	銀器商	同 坂下町	八七四	中 田 忠七

顧問

席次	業職名	住所	電話番号	氏名
一番	賣藥業、銀行、會社重役	高岡市木舟町	三〇〇	菅野傳右衛門
二番	市長、銀行、會社重役	同 末廣町	五〇〇	木津太郎平
三番	銀行、會社重役	同 源平町	七〇七	荒井建三
四番	銀行、會社重役	同 中川原町	一四七	荻布宗太郎
五番	高岡高等商業學校長	同 中川	八三一	熊木捨治
六番	日本曹達株式會社高岡工場長	同 大坪町	一二六〇	服部誠造

役員

職名	氏名
會頭	正村六之助
副會頭	本間常吉
常議員	梶川伊八郎
同	鳥田喜太郎
同	木勢次吉
同	大寺幸三郎
同	中村宇太郎

職員

職名	氏名
同	小藤正二
同	越野長二
理事	谷崎秀雄
書記	門島義八
同	定塚源次
同	園塚利直
同	芳野順勇

七、交通、運輸

高岡驛は北陸本線中の主要驛で、支線中越線、氷見線、新湊線を南北に分岐し、北は伏木港から氷見町又は新湊町に連絡し、南は礪波平野を縦断して城端町に到り、昭和四年十二月本市の東端に新設せられた越中中川驛及高岡驛とによつて、旅客及貨物は吞吐せらる、本市を中心として周圍數里の間に介在する幾多の町村とは、近年自動車の便開け實に四通八達の觀ある

加ふるに本市の西部を貫通する千保川は北に於て小矢部川と合し、古來伏木港と舟楫の便を有し貨物の上下漕運盛に利用せられ、本市の産業に資すること頗る大なるものある

八、官衙、學校

本市に存在する官衙、學校の主なるもの次の通りである

官 公 衙

高岡市役所	片原横町	高岡郵便局	御馬出町
高岡國民職業指導所	同	高岡稅務署	同
富山地方裁判所高岡支部	中川	商工省富山輸出絹織物検査所高岡支所	横田
高岡區裁判所	同	高岡川驛	下關
高岡區裁判所檢事局	同	高岡警察署	中川
富山縣工業試驗場	同	公證人役場	片原横町
執達吏役場	同	高岡市商工獎勵館	櫻馬場
富山縣農産物検査所高岡支所	公園内	庄川改修事務所	同
富山縣高岡土木出張所	同	小矢部川改修事務所	赤視父
富山縣高岡財務出張所	同	金澤地方專賣局高岡煙草販賣所	開發町
高岡圖書館	同		涼町

學 校

高岡高等商業學校	古定塚	横田國民學校	早川
縣立高岡中學校	中川	成美國民學校	成美町
縣立高岡工藝學校	同	博勞國民學校	博勞町
縣立高岡商業學校	涼町	川原國民學校	榮町

幼 稚 園

縣立高岡高等女學校	横田	平米國民學校	平米町
市立高岡高等女學校	芳野	定塚國民學校	中川
市立高岡商工青年學校	博勞町	下關國民學校	下關
市立高岡女子實業學校	同	二上國民學校	二上
私立高橋家政女學校	宮脇町	西條國民學校	横田
私立高岡裁縫女學校	下川原町		
私立高岡幼稚園	鴨島町	私立北陸女學校第三幼稚園	坂下町
私立志貴野幼稚園	定塚町		

九、名所、舊蹟

高岡公園 (高岡驛ヨリ北四丁)

慶長十四年前田利長卿築城の舊城で、其面積七萬千二百六十一坪地勢高爽で老松古杉蒼鬱として茂り櫻樹其間を点綴し、環すに碧池を以てし園内眺望に富み、四時曳笈の客絶めることなく城趾公園として全國有數の一なりと稱せらる

高岡城趾

俗に古城フルシロと稱し櫻馬場を通り抜け盡くる所から現在の高岡公園の地積一帯が即ちそれである、三百年前徳川の天下未だ定まらざる頃前田利長馬を關野の原頭に停め、居城の地を此處に卜し古詩の「鳳凰鳴千彼高岡」に因んで關野を高岡と改められたもので、當時の櫓樓、殿閣は廢毀せるも塹壕依然今に存し湛水深く丘上の老樹と共に慶長の昔を偲はしむるに足る

櫻馬場 (高岡驛附近)

慶長の昔前田利長卿在城の時、騎射場として開設せし遺蹟で兩側の長堤に櫻樹列なり幅員九間半、延長二百七十六間、老櫻三百餘株に及び、春風飴蕩の花季には香雲飄舞たる花の墜道と化し遠近よる集る觀客雜踏して皆花に酔はざるを得ない

中國幣射水神社

高岡公園の入口昔の搦手から左折すること百數十歩、老樹鬱々松杉相交るところ神韻嚴かに鎮座せる社殿は、瓊々杵尊を祀れる國幣中社射水神社である、又一説には二上神即ち天牟羅雲命を祀り上古葦原中津國の水悪しき爲め天忍石の長井の水を持ち降られた神で、射水は忌水の義なりとも云はる

延喜の刻名神大社に列し古は一に二上神と稱し元二上村に在つたが、明治八年今の地に移り越したもので、明治十四年一月大雪の爲に倒潰せしを同十五年五月之を再築し同三十三年六月本市大火災の社殿類焼し同三十五年八月現在の本殿、拜殿、神饌、社務所の四棟竣工し、大正四年十月神樂殿竣成せり、境内幽遠の氣に滿ち賽者自ら襟を正し崇敬禁せらしむ

高岡關野神社 (高岡驛ノ西北約二丁)

もと伊弉册尊を祀る關野神社と前田利長卿を祀る高岡神社とを大正八年九月合祀せられ縣社に列す、古來有名なる金碧燦爛なる山車ダシを曳き廻るこの神社の大祭は毎年五月一日に之を行はる
現在の社殿は明治三十三年六月の大火に焼失後大正七年六月再築落成したもので、社宇宏壯にして神苑は老鬱たる松杉を以て圍まる

瑞龍寺 (高岡驛の西南四丁)

明曆二年三代前田利常卿が良材を蒐めて、支那臨安府經山萬壽寺の造法に擬して建設せられたもので、結構至らざる所な

く、釋迦堂、法堂、總門は共に國寶建造物に指定せられ、侯爵前田家代々の菩提寺であるが、昭和十年十月より昭和十三年三月に亘り總工費八萬圓を投じ大修理を施され更に面目を一新せり

繁久寺 (高岡驛ノ東南三丁)

永錄年間射水郡南條城主加納中務の開基で、慶長年間水見郡より移り來り、曹洞宗で前田利長卿の墓地を護らしめる
寺院のすぐ傍にある利長卿墓は世嗣利常卿の建設せるもので、碑石葦然として高く利長卿の遺徳歴として千古に滌る所なく、拜者追慕欽仰の念に堪へざらしむ、塋域を圍むに井然たる石柵を以てし、柵外四邊に池を繞らし大小數十の石燈籠を配し、其規模宏壯を極め加ふるに老樹參差稍を交へて幽趣掬すべきものある

恒性皇子御陵墓 (郊外西南二十五丁)

高岡驛から中越線にて次驛二塚驛で降るれば僅かにして御陵に達する、後醍醐帝第十六皇子恒性の宮、北條高時の爲め此地に幽閉され給ひ、間もなく元弘三年各越遠江守時有の爲に弒せられ給ふた遺蹟で、近年宮内省にて御陵墓と決定し大に墓地を補修せられた、嗣前に拜跪し蒼涼萬古吉野朝四十年悲哀の史蹟を追想するとき、誰か萬斛の涙を禁ぜざるものなからん

大佛 (高岡驛ノ北三丁)

定塚町に在り延享二年淨土宗極樂寺の徒弟始めて建立し、金色燦たる三丈二尺の座像であつたが、明治三十三年本市の大火で惜くも類焼し、其後銅像にし再建を計り昭和八年五月漸く其竣工を告げ形想端嚴自ら漁懷に抱かる、壯觀を見るに至れり、尊像高二丈四尺五寸、蓮臺高一丈、臺座高一丈合計高四丈四尺五寸である

二上山

市の西北一里射水、氷見兩郡の境にあつて、高千六百尺、東西二峰あつて東を二上御前、西を獅子ヶ面又は袴越といふ、山高からずと雖ども山脚近く有磯海に接し、遠山近海の眺望一眸の裡に納め景致頗る絶佳である
守山城趾は其西峰袴腰で、正平年間越中守護斯波義將此に據り、天正年間には神保安藝守氏張の居城で後前田利長卿の有に歸したるものである

御車山ミクルマヤマ（鉾車）

御車山とは所謂鉾車ダシで通稱之を曳山ヒキヤマと稱し、慶長年間前田利長卿在域の當時市内七ヶ町に一臺宛附與せられたもので爾來三百有餘年連綿として今日に至るまで、毎年五月一日高岡關野神社の大祭には鼓笠囃市内を曳き廻り、七臺共各外少其の構造を異にすれども、金玉の象嵌、描金、彫刻精緻を極め、何れも名工の手になり殆んど桃山時代美術の精華を以て装られ、當日は遠近の男女老幼群集し來り、市内の雑踏甚しく北陸三縣中隨一の盛況を呈するを例とす

七夕祭

本市の七夕祭は五月大祭の曳山と共に、獨特の年中行事の一に數へらるゝもので、毎年七月六日から七日に亘り男子ある家々の軒端に高く笹竹を立て、其大なるものは高さ數間に達し數百の紅提灯を結付け、二重三重に意匠を凝した方間大の行燈を掲げ、所謂支那の故事織女星の祭をなすもので、夜間遠く之を望めば道路兩側からの竹は高く天に於て交錯相摩し紅蓮の紅橋正に天を焦さんとする觀ある、七日の夜は數十人の勢子達竹を擔つぎ、音頭手拍子勇しく市中を練りつゝ千保川橋上から竹を河中へ投ずる壯觀は深更まで續くのである、明治三十三年の大火後は一時類れ現今では再び往時の盛況を見ることを得ないが、猶本市名物の一として幾分其面影を存してゐる

諸統計

附會社一覽

市の西北一里射水、氷見兩郡の境にあつて、高千六百尺、東西二峰あつて東を二上御前、西を獅子ヶ面又は袴越といふ、山高からずと雖ども山脚近く有磯海に接し、遠山近海の眺望一眸の裡に納め景致頗る絶佳である。守山城趾は其西峰袴腰で、正平年間越中守護斯波義將此に據り、天正年間には神保安藝守氏張の居城で後前田利長卿の有に歸したるものである。

御車山 (鉾車)

御車山とは所謂鉾車ダシで通稱之を曳山ヒキヤマと稱し、慶長年間前田利長卿在域の當時市内七ヶ町に一臺宛附與せられたもので爾來三百有餘年連綿として今日に至るまで、毎年五月一日高岡關野神社の大祭には鼓琴囃囃市内を曳き廻り、七臺共各外少其の構造を異にすれども、金玉の象嵌、描金、彫刻精緻を極め、何れも名工の手になり殆んど桃山時代美術の精華を以て裝られ、當日は遠近の男女老幼群集し來り、市内の雑踏甚しく北陸三縣中隨一の盛況を呈するを例とす。

七夕祭

本市の七夕祭は五月大祭の曳山と共に、獨特の年中行事の一に數へらるゝもので、毎年七月六日から七日に亘り男子ある家々の軒端に高く笹竹を立て、其大なるものは高さ數間に達し數百の紅提灯を結付け、二重三重に意匠を凝した方間大の行燈を掲げ、所謂支那の故事織女星の祭をなすもので、夜間遠く之を望めば道路兩側からの竹は高く天に於て交錯相摩し紅蓮の紅橋正に天を焦さんとする觀ある、七日の夜は數十人の勢子達竹を擔つぎ、音頭手拍子勇しく市中を練りつゝ千保川橋上から竹を河中へ投ずる壯觀は深更まで續くのである、明治三十三年の大火後は一時頽れ現今では再び往時の盛況を見ることを得ないが、猶本市名物の一として幾分其面影を存してゐる。

諸統計

附會社一覽

諸 統 計 附 會 社 組 合 一 覽

戶 口

年 次	戶 數	現 住 人 口	
		男	女
昭 和 十 五 年	三、五三二	二九、七二七	三二、一五七
同 十 四 年	三、三二四	二九、八二〇	三〇、六七二
同 十 三 年	二、一五六	二九、五三三	三〇、五二六
同 十 二 年	二、〇七五	二九、四二四	三〇、三九五
同 十 一 年	二、七三四	二八、八七六	三〇、〇四一

職 業 別 (昭和十五年)

種 類	戶 數	人 口	
		男	女
農 業	一、〇四四	一、三三二	一、三九五
水 産	二、三三	五二	—
工 業	四、九三三	八、三八〇	三、五八三
計	—	—	—

商交公其家無合	業通業	自由業者	其他有業者	家事使用人	無職計
三、五〇五	六三三	一、一九五	七五九	二	三三四
四、四八六	八二四	一、四三四	一、一四四	四三	二、〇一〇
三、八六七	二三四	七六〇	二八四	四八四	二〇、五五〇
八、三五三	一、〇五八	二、一九四	一、三九八	五二七	三三、一五七

銀行

年次	總高	取拂戻立返高	年末現在高
昭和十五年	三三、三三一、六三八	一九九、九八八、九五二	二四、四〇五、二五二
昭和十四年	一九七、四四三、五九六	一六五、五五八、五四八	二一、四五五、二二八
昭和十三年	一五三、六三一、一五一	一五〇、四七八、八二〇	一八、五四九、〇三四
昭和十二年	一四二、三三八、五〇四	一三六、一四六、一四三	一四、五八七、四四〇
昭和十一年	一〇、〇九一、五五六	一〇九、三四九、二八三	一二、四〇九、五九二
昭和十五年	四七〇、三六〇	七六、八四〇	一九四、〇二四
昭和十四年	五九一、二二一	一三五、三二二	二五八、四〇二
昭和十三年	二二二、八三三	一〇九九、一三六	二九四、九七八
昭和十二年	一、〇九九、二八八	二四三、九六二	一、一八一、四一九
昭和十一年	四九八、四一七	三九七、七七四	三二七、三七七

手形	割引	手形	當座	年次	取組高	取組高	支拂取立高	支拂取立高
同	同	同	同	昭和十五年	八五、八七六、三五七	九八、三九一、九一七	五〇、七三三、四四二	二、一〇七、二六四
同	同	同	同	昭和十四年	六四、四二一、〇一一	六六、〇四三、七六〇	三九、八〇四、八九六	一、七三三、九三二
同	同	同	同	昭和十三年	五三、六三三、五七六	六二、八五九、八三〇	三三、五〇五、二五〇	一、五六五、七二二
同	同	同	同	昭和十二年	五二、六八五、三三五	六一、八二八、五三八	三〇、九二四、六五五	一、五五五、四四八
同	同	同	同	昭和十一年	四一、四三三、七九八	五〇、八四七、二四二	二二、四六八、三七〇	一、四〇三、六六三
同	同	同	同	昭和十五年	一六、三五八、二二二	一三、二六八、三八三	六六、〇六二、〇六七	九、六六六、二九〇
同	同	同	同	昭和十四年	一一、〇一〇、七九三	一一、三九九、五五五	五四、八七五、六六八	一〇、六五一、五九五
同	同	同	同	昭和十三年	一〇、六〇九、九七四	一〇、三七七、二八三	五四、一六六、六五三	九、六〇〇、〇〇〇
同	同	同	同	昭和十二年	一一、〇三九、八八六	一一、〇六〇、一九一	四九、五六五、五八六	九、五六二、二二二
同	同	同	同	昭和十一年	六、八九七、二七八	六、五〇六、九五六	三九、七九四、七七八	八、六九二、一一一
荷爲替	同	同	同	昭和十五年	六、九五八、三九五	六、九五八、三九五	一三、二六八、三八三	一、二八三、二五九
同	同	同	同	昭和十四年	四、七四三、五〇八	四、七四三、五〇八	一三、三九九、五五五	一、四〇五、一一一
同	同	同	同	昭和十三年	三、三七七、七五三	三、三七七、七五三	一〇、三七七、二八三	一、四三三、一〇三
同	同	同	同	昭和十二年	六、五五九、五八一	六、五五九、五八一	一一、〇六〇、一九一	一、二八三、二五九
同	同	同	同	昭和十一年	三、八一八、一九一	三、八一八、一九一	六、五〇六、九五六	一、二四〇、四九四

手形交換高

年次	金額	枚數	交換差額	交換日數
昭和十五年	五、三二、八七九 <small>円</small>	八四、〇六八 <small>枚</small>	一五、一六、三〇六 <small>円</small>	二九八
昭和十四年	四、四〇五、〇一九	八六、〇五三	二、五六九、四三四	二九九
昭和十三年	三、三四一、九一〇	八一、二八五	一、二三五、二五五	二九九
昭和十二年	三六、四三七、九〇四	七七、九七八	一、一三五、八一四	二九九
昭和十一年	二七、九〇八、二四五	七二、〇七八	九、四八、七〇一	二九九

富山縣農產物検査所高岡支所

年次	合格米(甲、乙、丙、丁)		不合格米		計
	一等	二等	三等	其他	
昭和十五年	一、二四五 <small>依</small>	八六、六〇二 <small>依</small>	二七、一九八 <small>依</small>	一八八、七三〇 <small>依</small>	三、八二〇 <small>依</small>
昭和十四年	一、二四五 <small>依</small>	二七、三六三	八五、九四六	一〇六、四七九	二、七七二
昭和十三年	一、二四五 <small>依</small>	一三三、七九二	五六、七八三	七二、一五	三、九四二
昭和十二年	一、二四五 <small>依</small>	一六八、〇二四	四四、七二四	四〇、八六四	三、九四二
昭和十一年	一、二四五 <small>依</small>	一、九二八、五三七	七九二、〇二六	三〇、六〇一	三、九四二
計	一、二四五 <small>依</small>	一、二四五 <small>依</small>	一、二四五 <small>依</small>	一、二四五 <small>依</small>	一、二四五 <small>依</small>

通信

移出	同十一年度	同十二年度	同十三年度
預入高	二、九四〇、五七六	二、〇九五、七三三	一、六五五、二二二
拂渡高	四六五、二〇一	四一〇、五一五	二七六、〇一九
振出高	一、九二八、五三七	一、六八〇、二二四	一、三七七、二二三
拂渡高	四八、六八二	四四、七二四	四〇、八六四
口振出高	九六二、七三四	七九二、〇二六	七三四、四二六
口拂渡高	三三、六一四	三二、五〇一	三〇、六〇一
口高	一、六八六、一五六	四四二、九〇五	一、三四七、五七一
替爲便郵	四九、二五三	四一、四六四	四四、三五三
便郵	一一〇、七五五	一一三、九二九	一三四、一〇二
受引	六〇、一五一	五八、四九二	六一、二五九
特小	二二七、七二二	一〇八、七五八	一四三、九四八
特小	七、九八一	六〇、七一一	六三、三九七
高取物便郵			
遠配			

種別	昭十五年					昭十四年					昭十三年					昭十二年					昭十一年									
	地租	種租	甲種	乙種	酒稅	地租	種租	甲種	乙種	酒稅	地租	種租	甲種	乙種	酒稅	地租	種租	甲種	乙種	酒稅	地租	種租	甲種	乙種	酒稅	地租	種租	甲種	乙種	酒稅
昭十五年	一六、一七九	四、三八〇	一、四三三	三、二二八	八七、四二二	二七、二七六	三、八八一	一、七五五	一、七五五	一、七五五	二七、八六二	二、〇七三	一、五九七	一、五九七	一、五九七	二九、〇三三	三、〇三三	一、五九七	一、五九七	一、五九七	二九、〇三三	三、〇三三	一、五九七	一、五九七	一、五九七	二九、〇三三	三、〇三三	一、五九七	一、五九七	一、五九七
昭十四年	一六、一七九	四、三八〇	一、四三三	三、二二八	八七、四二二	二七、二七六	三、八八一	一、七五五	一、七五五	一、七五五	二七、八六二	二、〇七三	一、五九七	一、五九七	一、五九七	二九、〇三三	三、〇三三	一、五九七	一、五九七	一、五九七	二九、〇三三	三、〇三三	一、五九七	一、五九七	一、五九七	二九、〇三三	三、〇三三	一、五九七	一、五九七	一、五九七
昭十三年	一六、一七九	四、三八〇	一、四三三	三、二二八	八七、四二二	二七、二七六	三、八八一	一、七五五	一、七五五	一、七五五	二七、八六二	二、〇七三	一、五九七	一、五九七	一、五九七	二九、〇三三	三、〇三三	一、五九七	一、五九七	一、五九七	二九、〇三三	三、〇三三	一、五九七	一、五九七	一、五九七	二九、〇三三	三、〇三三	一、五九七	一、五九七	一、五九七
昭十二年	一六、一七九	四、三八〇	一、四三三	三、二二八	八七、四二二	二七、二七六	三、八八一	一、七五五	一、七五五	一、七五五	二七、八六二	二、〇七三	一、五九七	一、五九七	一、五九七	二九、〇三三	三、〇三三	一、五九七	一、五九七	一、五九七	二九、〇三三	三、〇三三	一、五九七	一、五九七	一、五九七	二九、〇三三	三、〇三三	一、五九七	一、五九七	一、五九七
昭十一年	一六、一七九	四、三八〇	一、四三三	三、二二八	八七、四二二	二七、二七六	三、八八一	一、七五五	一、七五五	一、七五五	二七、八六二	二、〇七三	一、五九七	一、五九七	一、五九七	二九、〇三三	三、〇三三	一、五九七	一、五九七	一、五九七	二九、〇三三	三、〇三三	一、五九七	一、五九七	一、五九七	二九、〇三三	三、〇三三	一、五九七	一、五九七	一、五九七

一五

諸稅

種別	昭十五年	昭十四年	昭十三年	昭十二年	昭十一年
酒	二〇〇、九四三	一八九、〇〇〇	二二九、六一一	二二二、五六〇	三四八、九一七
菓子	二六五、三七八	二五二、五〇〇	三五二、九一〇	二五〇、五二二	二六二、一八四
傘	二二五、三二〇	一七八、七五〇	一六二、五〇〇	一四八、五〇〇	一八五、二〇〇
金銀細工	九八、五七二	一一〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇	一六五、〇〇〇	一五〇、〇〇〇
絹織物	九六三、二五七	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	九五三、五〇〇	四五四、二九二
綿織物	一、三〇六、七五四	一、〇三三、二二七	八八四、八七六	七六一、一六〇	七〇六、四八八
鐵製器具類	同	公表差控	公表差控	公表差控	公表差控
スフ紡績糸	三、五〇八、二〇〇	同	同	同	同
其他計	二二、一四八、七八七	三、八九八、九四〇	一、六五八、一五四	三、三五一、四四九	二、三〇四、三〇四
合計	四四、八七〇、九二四	四〇、八七七、六三八	三二、五四七、一七六	二九、四七七、四八一	三三、五〇九、六二三

重要工産物

種別	昭十五年	昭十四年	昭十三年	昭十二年	昭十一年
銅器	二、二五〇、四三二	二、四五〇、〇〇〇	三、五〇〇、〇〇〇	四、三三〇、〇〇〇	五、二九八、三六五
漆器	八八〇、六八〇	七九五、〇〇〇	七五五、七四一	七六五、〇〇〇	一、〇三三、六〇〇
絹織物	一〇、八〇〇、〇〇〇	九、五〇〇、〇〇〇	七、〇七二、二六八	一〇、二〇九、一一五	七、九九二、九三三
綿織物	六三二、八一八	一、八三六、一〇七	六四四、六三四	九八〇、八七七	七九二、三三八
製鐵	九七〇、九七一	一、二五〇、一一二	一、二五一、三三五	一、六七五、〇七五	一、三三九、八四七
木製器具	二五五、〇〇〇	七二五、〇〇〇	八二五、〇〇〇	一、一〇〇、〇〇〇	一、一八五、九五〇
賣木	二五五、〇〇〇	二二七、五〇〇	二二二、〇〇〇	二八二、〇〇〇	二八〇、〇〇〇
其他計	五七二、六三九	五一一、三五八	五一六、六九七	六〇六、八三三	六〇二、三三三
合計	二八、八六四	二四、五〇〇	二四、七六八	二五、八六七	二六、四〇〇

種別	昭十五年	昭十四年	昭十三年	昭十二年	昭十一年
左官	二、五〇〇	二、三〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、七〇〇
ペンキ塗工	三、二四〇	三、三〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
瓦葺工	二、五六〇	二、五〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
庭師	二、二六〇	二、二〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
仲仕	二、四〇〇	一、八九〇	一、二〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇
日雇人	二、三〇〇	一、八五〇	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇
下下	一、六〇〇	一、五八〇	一、〇五〇	一、〇五〇	一、〇五〇
其他計	一、五〇〇	一、四〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇

二四

會社一覽

株式會社

(昭和十六年十月二十日現在)

業種欄内中製ハ「製造」販ハ「販賣」、
委ハ「委託販賣」、問ハ「問屋業」、賣ハ
「賣買」、雜ハ「雜賣」ノ略

商	業融金	商	業	種	所在地	設立年月	總額	本額	拂込額	積立金	代表者氏名
株式會社高岡銀行	銀行業	守山町	大正九・六二、六三、五〇〇	九、五三、二五〇	三、八九、二九二	頭取高次平					
日本海無株式會社	無盡業	坂下町	昭和	一五、〇〇〇	三七、九六二	常務正村六之助					
高岡魚市株式會社	魚類、委	上川原町	一五・三	一九九、〇〇〇	九四、九二六	社長大寺幸八郎					
高岡青果物配給株式會社	青物果實乾物、販、委	鴨島町	一五・二	一九五、〇〇〇	五〇、八〇〇	同 油谷彌平					
中越土木株式會社	土木建築請負	下關	大正八・二	五〇〇、〇〇〇	一、九〇〇	同 鳥田純一郎					
高岡砂糖株式會社	砂糖麥粉、賣	木舟町	九・三	三〇〇、〇〇〇	七七、五七五	同 油谷彌平					
北一株式會社	綿糸布麻糸布疊表石油販代理問屋雜物ノ製	小馬出町	九・四	一〇〇、〇〇〇	一、九〇〇	同 室崎佐太郎					
株式會社グリーンホール	棚貸、食堂	下關	一三・三	五〇、〇〇〇	—	同 釣谷又右衛門					
同 小杉商店	魚米水産業及肥料、農具並ニ代理業	中川原町	昭和二・二	三〇〇、〇〇〇	一五、〇〇〇	同 小杉正二					
北國石炭株式會社	石炭販、燃料製、代理業	横田	六・八	四五〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇	同 飛田政吉					
株式會社高岡藥房	調劑、工業藥品、醫用品化粧品、食料品販	末廣町	七・七	一〇、〇〇〇	—	同 山本敬三郎					

合	計	計	計	計	計	計	計
特別地租稅	—	—	—	—	—	—	—
自動車稅附加稅	五、三二七	—	—	—	—	—	—
電柱稅附加稅	一、〇〇八	—	—	—	—	—	—
不動産取得稅附加稅	一五、七〇一	—	—	—	—	—	—
狩獵稅附加稅	四〇	—	—	—	—	—	—
藝妓稅附加稅	七、七〇七	—	—	—	—	—	—
市民稅	七二、六二七	—	—	—	—	—	—
自轉車稅	一三、四四五	—	—	—	—	—	—
荷車稅	二、四六七	—	—	—	—	—	—
金庫稅	二、九五〇	—	—	—	—	—	—
旋風機稅	九四	—	—	—	—	—	—
屠畜稅	二、八九七	—	—	—	—	—	—
犬稅	九四	—	—	—	—	—	—
都市計畫特別稅	七九、二三八	—	—	—	—	—	—
合計	四七七、二六九	六四、四九〇	六〇九、五九七	四八三、二四四	二、三九〇	四五、七九六	五〇三、二八九
合計	三、〇九〇、六四八	二、三〇八、一〇三	一、六七三、二六〇	一、四五三、〇五四	—	—	—

業								
北陸水産株式會社	海産物委、冷蔵	中川原町	八・三	100,000	115,000	11,500	同	小杉正二
新興産業株式會社	自動車附屬品販	定塚町	10・二	30,000	15,000	同	同	柴野保
高海産物株式會社	海産物、委、倉庫	檜物屋町	11・四	50,000	30,000	800	同	荻布與三次郎
關東鈔型株式會社	特許捺染型ノ製	定塚町	11・一	30,000	30,000	同	同	井波義兵衛
北陸鐵機株式會社	日滿鉄鐵販、鉄	金屋町	11・三	180,000	180,000	14,848	同	金森藤平
富染商事株式會社	各種織物委並加	木津	14・四	150,000	150,000	2,000	同	井波清治郎
守護商事株式會社	北陸物産卸販委	一番新町	14・六	50,000	15,000	同	同	守護辰次郎
滿支貿易株式會社	ウエス加工、薬	下關	14・六	100,000	50,000	同	同	増井敬一
富山縣販賣株式會社	石油類ノ賣	同	15・一	350,000	175,000	1,100	同	長沼與三
北日本布株式會社	編物ノ製、販、	堀上町	15・三	110,000	71,500	同	同	和田一郎
高岡製紙株式會社	製紙原料ノ集貨	繩手中町	15・七	50,000	31,500	100	同	吉澤政義
富山縣統制株式會社	石炭配給統制並	御旅屋町	15・10	150,000	37,500	同	同	境久作
富山縣共販株式會社	棒銅型鋼板販及	榮町	15・11	195,000	26,750	同	同	鍋谷平二
鋼材合同株式會社	各種木材販、建築用材、	同	15・12	198,000	49,500	150	同	熊木吉次郎
富山縣販賣株式會社	釘、針金鐵線賣	同	16・一	100,000	65,000	同	同	武部半馬
針金販賣株式會社	ノト販賣所	小馬出町	16・五	50,000	10,500	同	同	谷道岩治郎

工								
株式高岡アルミニウム	アルミニウム器具、輕金	一番新町	16・六	100,000	25,000	同	同	守護辰次郎
會社器具卸共販所	生鮮魚介冷凍魚、塩乾魚	上川原町	16・八	199,000	99,500	同	同	荻布宗太郎
高岡合同株式會社	鳥類其他食料品、醬油販	小馬出町	16・六	50,000	21,500	同	同	島田喜太郎
富山和紙販賣株式會社	和紙販	新横町	16・七	110,000	20,000	10,692	同	高畑貴一
高岡藥劑株式會社	賣藥、製	横田	14・11	350,000	36,250	65,692	同	木津太郎平
高岡打綿株式會社	製綿、原料販	中島町	14・11	140,000	140,000	19,958	同	荻布宗太郎
高岡産業株式會社	人造氷等、製、物品冷蔵	横田	14・11	200,000	200,000	11,420	同	吉田作助
高岡瓦斯株式會社	瓦斯、製	涼町	16・四	150,000	15,000	同	同	常務朝山次助
高岡印刷株式會社	印刷業	宮脇町	18・四	250,000	25,000	1,540	同	社長塩崎利平
株式高岡漆器商會	漆器製、販	木町	19・三	195,000	17,500	33,500	同	同上八郎
同丸五繼手製作所	マルエブル可鍛	定塚町	10・11	50,000	10,000	5,530	同	谷道五郎二
越中活版株式會社	鐵裝品類、販	同	14・11	200,000	10,000	570	同	常務塩谷與平
株式塩谷印刷所	同	同	15・三	210,000	110,000	28,170	同	社長荒野正治
同 荒野商店	酒釀造業	同	15・三	210,000	110,000	19,000	同	本川藤三郎
丸又製綿株式會社	綿、製、販	坂下町	昭五・三	100,000	50,000	1,800	同	武田儀八郎
新興友仙株式會社	友禪加工	横田	七・八	199,950	199,950	3,896	同	宇於崎章吉
大同捺染株式會社	捺染加工	羽廣	七・九	50,000	50,000	同	同	

業	種	所在地	設立年月	資本金	積立金	代表者氏名
北研工業株式會社	砥石、製、販	能町村	一〇・一五	五〇〇,〇〇〇	五、五〇〇	同 牧田與四郎
富山縣織株式會社	染色精鍊加工、販	木津	一一・九	一五〇,〇〇〇	一四、〇〇〇	同 井波清治郎
中越可鍛株式會社	鑄物、鐵管繼手製、販	内免	一一・九	一〇〇,〇〇〇	一五、〇〇〇	同 川崎幸作
高岡ステンレス株式會社	ステンレス製、加工、販	向野町	一三・一一	一、〇〇〇,〇〇〇	—	同 藤村秀穂
株式會社 梶原製作所	軍器工業下請、銅器共、他金屬品、製、販	横田	一四・四	一〇〇,〇〇〇	一、五〇〇	同 守護辰次郎
研磨製砥株式會社	研磨ノ砂布、研磨用器具製、販	木町	一四・四	一〇〇,〇〇〇	—	同 山崎與吉
東亞バルブ株式會社	銅金屬製、加工、販	横田	一四・四	一〇〇,〇〇〇	—	同 守護辰次郎
日製本造株式會社	滿、軍需品下請、販	木津	一五・八	六〇〇,〇〇〇	一五、〇〇〇	同 井村荒喜
滿洲製鍊株式會社	木屑應用下駄製、販	開發町	一六・一	五〇,〇〇〇	—	同 前田兵次郎
株式會社 北陸木工所	各種紙袋製、販	羽廣	一六・三	三〇,〇〇〇	九、〇〇〇	同 村本庄太郎
北陸工業株式會社	農機具鐵工機械製、販	守山町	一六・五	一八〇,〇〇〇	四五、〇〇〇	同 卯尾田毅太郎
日興工業株式會社	特殊金屬品類ノ製、加工	二番新町	一六・七	一〇〇,〇〇〇	二五、〇〇〇	同 守護佐平
北陸金屬株式會社	織物製、織維製品ノ製、加工	定塚町	一六・七	一九八,〇〇〇	一八、〇〇〇	同 井波義兵衛
日本染織株式會社	織物製、織維製品ノ製、加工	末廣町	一六・八・一〇	二〇,〇〇〇	八、〇〇〇	同 重永佐太郎
自動車株式會社	自動車運輸業	末廣町	一九・五	一〇〇,〇〇〇	二五、〇〇〇	同 山本克太郎
鳥川運送株式會社	運送業	下關	昭和三一	二〇〇,〇〇〇	—	同 宇野義太郎
高岡運送株式會社	運送業、倉庫業、保險代理業	末廣町	昭和三一	一三〇,〇〇〇	—	同 宇野義太郎

有限會社

業	種	所在地	設立年月	資本金	積立金	代表者氏名
高大バス株式會社	自動車運輸業	下關	一〇・一一	五、〇〇〇	九六〇	同 渡邊福一郎
東亞株式會社	貨物運輸請負	横田	一三・三	一五〇,〇〇〇	一、二〇〇	同 野尻嘉一郎
高岡トラック株式會社	貨物運送	下關	一四・一〇	五〇,〇〇〇	一、〇〇〇	同 宇野義太郎
愛國貨物株式會社	同	横田	一五・一一	四二,〇〇〇	一〇〇	同 開發喜太郎
株式會社 高岡檢査	藝妓ノ花代通金其、藝妓營業ニ關スル諸般ノ周旋	片原町	一四・一一	六〇,〇〇〇	六五〇	同 塩谷伊三次郎
高陵新興株式會社	映画寫眞、各種興行、貨貸業	下川原町	一九・一一	一〇,〇〇〇	一五〇	同 常務若杉竹次郎
株式會社 高岡劇場	興行、貨貸業、各種	末廣町	一九・一一	一〇,〇〇〇	一、六〇〇	社長 櫻井宗一郎
高岡佛壇有限會社	屑織維ノ一手入荷、統制會社ヘ納入ニ製造スル佛壇、佛具、販	下關	昭和一五・一一	二〇,〇〇〇	八〇	社長 吉澤政義
高岡合同有限會社	乾物罐詰其他食料品販	鴨島町	一六・八	一三,〇〇〇	—	同 大場莊二
食品配給有限會社	乾物罐詰其他食料品販	坂下町	一六・一〇	一〇〇,〇〇〇	—	同 油谷彌平
有限會社 丁製練所	非鐵金屬ノ精練及原料ノ賣	金屋町	一五・一一	五五,〇〇〇	—	同 高見清平
有限會社 角製練所	角丁販	横田	一六・一一	三〇,〇〇〇	—	同 室崎佐太郎
富山縣落綿加工所	落綿ノ精練加工、落綿ノ買	横田	一六・一一	三〇,〇〇〇	—	同 室崎佐太郎

同 清水織物工場	人絹織物業	内 免	一三・四	三〇,〇〇〇		龜田由吉
----------	-------	-----	------	--------	--	------

合名會社

商 號	業 種	所 在 地	設 立 年 月	資 立 金	積 立 金	代 表 者 氏 名
合名會社共同商會	清涼飲料水製	南 町	昭五・四	六,〇〇〇		戸出 豐吉
同泉八右衛門商店	寫真臺紙、寫真帳製販、委	宮 脇 町	五・七	三〇,〇〇〇	五、二三	泉 八右衛門
同 大瀧商店	燒餅製、販	末 廣 町	一四・五	七,〇〇〇		大 瀧 清吉
同 富秀商店	和洋傘、荒物雜貨、傘用原	大 坪 町	一六・八	二,〇〇〇		越 田 利富
同 二上商店	鐵管繼手販	木 町	一六・九	一〇,〇〇〇		二 上 八郎
井波合名會社	新毛斯友禪捺染加工、販	定 塚 町	大正 一〇・七	三〇,〇〇〇		井 波 義兵衛
合名松村工務所	器械製、工事請負、金錢貸付	開 發 町	昭三・一	五,〇〇〇		松 村 次作
同立山飲料水商會	ラムネ、サイダー、ソーダ水	横 田	一六・二	四、五〇〇		佐 々 木 甚七
同新興自動車工場	自動車加工修理	下 關	一六・七	三,〇〇〇		堀 井 利一

支 店

商 號	所 在 地	本 店 所 在 地	支 店 設 置 年 月	總 額	本 額	積 立 金	支 店 代 表 者 氏 名
株式會社十二銀行支店	守 山 町	富 山 市	昭三・一	二二,〇〇〇,〇〇〇	一三,一五〇,〇〇〇	七,九四、一九七	廣 田 四郎
同 富山銀行支店	中 烏 町	同	三三・三	二,六四〇,〇〇〇	二,三七六,〇〇〇	二七、四九四	高 浪 政勝
日清紡績株式會社高岡工場	横 田	東 京 府	大正 四・二	二八,五〇〇,〇〇〇	二八,五〇〇,〇〇〇	二五、三九三、三〇〇	佐 藤 次雄
株式會社中越銀行支店	御 馬 出 町	出 町	八・七	五,〇〇〇,〇〇〇	四、二五〇,〇〇〇	二〇、六〇〇	菊 野 友治
同 不動貯金銀行支店	木 舟 町	東 京 市	九・二	八,〇〇〇,〇〇〇	八,〇〇〇,〇〇〇	一三、五五〇,〇〇〇	森 田 八郎
同 金澤貯蓄銀行支店	同	金 澤 市	一〇・六	五〇〇,〇〇〇	三八七,五〇〇	六八九、一九六	北 形 仁三郎
同 富山貯蓄銀行支店	三 番 町	富 山 市	一〇・一	五〇〇,〇〇〇	二一五,〇〇〇	一八一、六四一	南 治 一
日本曹達株式會社高岡工場	開 發 町	東 京 市	昭三・一〇	一八〇,〇〇〇,〇〇〇	二九,八九九、八八八	六、八九七、八五〇	服 部 誠造
壽織維工業株式會社高岡工場	上 關	大 阪 市	一〇・一〇	二〇,〇〇〇,〇〇〇	一三、二五〇,〇〇〇	二五〇,〇〇〇	中 村 尙馬
北陸信託株式會社高岡支店	一 番 町	富 山 市	二二・七	一,〇〇〇,〇〇〇	三〇〇,〇〇〇	七六、四〇〇	荒 井 純四郎
株式會社丸越高岡店	宮 脇 町	金 澤 市	二二・九	一,一〇〇,〇〇〇	八六〇,〇〇〇	七六、五〇〇	田 賀 孫亮
中越塩業株式會社高岡支店	横 田	伏 木 町	二二・七	八〇,〇〇〇	五六,〇〇〇		塩 谷 彌三次
日本米穀株式會社高岡市場	御 馬 出 町	東 京 市	一五・三	三〇,〇〇〇,〇〇〇	二六、二五〇,〇〇〇	一一〇,〇〇〇	島 田 安太郎
北陸合同電氣株式會社高岡支店	涼 町	富 山 市	一六・八	八八,〇〇〇,〇〇〇	七二,二五、〇〇〇		西 泰藏

417
280

昭和十六年十月廿五日印刷
昭和十六年十月三十日發行
(非賣品)

發行所 高岡市利屋町一番地
高岡商工會議所

印刷者 高岡市利屋町三番地
小間 義雄

印刷所 高岡市利屋町三番地
小間 印刷所

終

